

## 用途

塗料やコーティングが施されていない無垢の木材を保護するための屋内専用オイル・ワックスです。一度塗りで作業が完了します。

## 注意事項

- 必ず目立たない個所で試し、異常のないことを確認してください。
- 作業の際は作業着、耐油性保護手袋、エプロン等を着用しワックス（液体）が皮膚に触れないようにしてください。
- 使用時は、缶をよく振ってからお使いください。随時よく混ぜてください。
- 原則的に原液でご使用下さい。
- 推奨作業環境は温度：10～30℃、湿度：85%以下、木材含水率：15%以下  
※ 低温時は粘度が高くなるため、数日間、暖かい部屋に移す等工夫してください
- 本製品は酸素と結合することにより硬化します。  
塗装から乾燥の工程では換気を意識的に行ってください。
- 過去に塗装やコーティングが施されている場合は全て除去してください。
- 塗布作業は端から均一丁寧に行ってください。塗布面に本製品を直接垂らしますと染みになる場合があります。
- 床用接着剤を使用する場合は接着面に本製品を付着させないでください。接着能力が著しく低下する場合があります。
- 塗装前、塗装面がスムーズでない場合はサンドペーパー（＃120～＃180）で整えてください。また、土や砂、ホコリ、樹脂、油污れ等をきれいに取り除き、乾燥した状態にしましょう。
- 木材にしっかりワックスを浸透させながら塗布し塗布後5～10分が経過したところから順次ワックスをきれいに拭き取ってください。過剰に付着したワックスは放置すると水飴状になり乾燥時間の極端な遅延につながる恐れがあります。角や端、目地に入りこんだワックスも残さず拭き取りましょう。
- 塗料の漏洩物及び洗浄廃液は、水域、下水道、地下水、飲料水系へ漏出しないようにしてください。
- 保管は確実に密栓し子供や認知症の方などの手の届かない冷暗所にて。（作業中も要注意）
- ワックスが付着した塗装用具（刷毛、ローラー、布、新聞紙、ゴミ等）は自然発火の危険性があるため放置せず、不燃容器に入れ蓋をして保管してください。廃棄は塗装用具を水に浸してから家庭用ごみ（可燃物）として早めに廃棄してください。



## メンテナンス

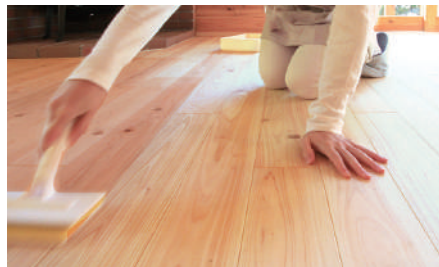
- Nr.128 塗布後は Nr.431 または Nr.680(ワックスシート)を用い、定期的（月2回以上）に床を拭き掃除してください。日常的にこの作業を行っていただきますと大掛かりなワックス掛け作業は不要になります。
- 常時水の影響を受けるところ（キッチン、脱衣所、洗面所等）には、Nr.128 施工後、Nr.171(ハードワックス)を上塗りしすることで格段に撥水性を高めることができます。

## 使い方



### 1 「マスキング」

ワックスが必要な部分と不要部分の境目にテープやビニールを貼り、不要部分にワックスが付着しないようにします。



### 2 「塗装」

事前に缶をよく振り、開缶後よくかき混ぜます。隅や端はハケ・広い面積はコテバケで塗装を行います。かすれないように塗装用具へワックスを染み込ませて木材にしっかり浸透させます。



### 3 「拭き取り」

ワックス塗布後、5～10分が経過したら、ワックスの拭き取り作業を行ってください。  
ワックスは木材に浸透し効果を発揮しますので床表面の液体は余すことなく全てきれいに拭き取ってください。